

「野の花の丘便り」 8月中旬

またあの黄色い花が

立秋が過ぎ、暦の上では秋になりました。日は赤々とまだまだ暑さ厳くはありますが、風には秋を感じます。

「野の花の丘」も8月中旬になるとエゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオなどの主役の花も終わり、ツリガネニンジン、クサレダマ、エゾミソハギ、キンミズヒキなどの花も終わりに近づいています。今はオミナエシの黄色い花が一番目立っています。また秋の代表格の菊の仲間のエゾノコンギクが咲き始め秋の気配が漂ってきました。

そして今年もまたあのセイタカアワダチソウ!の黄色い花が目立ってきました。よく見ればキクに似たかわいい花にも見えなくはありませんが、放っておくとほかの花を駆逐してしまう厄介な外来種です。今年もまたこの困り者の黄色い花の駆除に汗を流す事になりそうです。

終わりに近づいている花々

ツリガネニンジン



クサレダマ



エゾミソハギ



頑張っているオミナエシ 厄介者のセイタカアワダチソウ

